

Minami Kyushu University Syllabus

シラバス年度	2026年度	開講キャンパス		都城キャンパス		開設学科		子ども教育学科		
科目名称	教育課程論						授業形態		講義	
科目コード	750065	単位数	2単位	配当学年	2	実務経験教員			アクティブ ラーニング	○
担当教員名	上森 和廣								ICT活 用	
授業概要	学校の教育課程とは、学校教育を通して児童生徒の成長・発達を促すために組織された教育計画である。したがって、その教育課程を編成・実施・評価する営みは、教師にとって創造的なものであるがゆえに、「魅力」「やりがい」にあふれたものであるといえる。 本講義では、教育課程を編成・実施・評価するために必要な教育課程の役割・機能・意義を理解するとともに、教育課程の基準である学習指導要領の教育的意義、法的位置付け、変遷の教育的背景、改訂の基本理念、具体的内容を理解し、実際の教育課程の編成・実施・評価をどう展開していくかについてグループワークや演習を通して実践的に学んでいく。									
関連する科目	教職概論、教育の方法と技術、各教科教育法、道德教育の理論と指導法、教育実習演習									
授業の進め方 と方法	全１５時間において、主体的・対話的で深い学びの実現を目指した講義を展開します。 基本的な講義構成としては以下のとおりです。 展開「はじめ」においては、基本的な知識及び技能の習得に向けて、指導者と学生、学生同士の対話を通して学びます。 展開「なか」においては、汎用的技能の育成に向けて、主としてグループワークによるディスカッションや課題解決・探求学習及び演習を通して学びます。 展開「おわり」には、今日の学びを振り返り、レポートとして記録します。									
授業計画 【第1回】	オリエンテーション ① 本講義の内容概観と進め方、評価方法等について理解する。 ② グループワーク及び演習の方法について理解する。 ③ 教育課程の編成原理について学ぶ。									
授業計画 【第2回】	教育課程の役割・機能・意義 1 ① 教育課程（編成の主体、原則、基本的要素、法的根拠等）について学ぶ。 ② 本時の学びから見えた課題について、グループワークや演習を通して学ぶ。									
授業計画 【第3回】	教育課程の役割・機能・意義 2 ① 教育の目標や目的、教育課程に関する法的根拠について学ぶ。 ② 本時の学びから見えた課題について、グループワークや演習を通して学ぶ。									
授業計画 【第4回】	教育課程の役割・機能・意義 3 ① 実際の教育課程をもとに、その構成と内容及び編成の実際について学ぶ。 ② 本時の学びから見えた課題について、グループワークや演習を通して学ぶ。									
授業計画 【第5回】	教育課程の役割・機能・意義 4 ① 実際の教育課程をもとに、その編成・実施・評価の実際について学ぶ。 ② 本時の学びから見えた課題について、グループワークや演習を通して学ぶ。									
授業計画 【第6回】	教育課程の役割・機能・意義 5 ① 実際の教育課程をもとに、その編成・実施・評価について学ぶ。 ② 学習指導要領改訂（第１回）の歴史的背景と内容歴史について学ぶ。 ③ 本時の学びから見えた課題について、グループワークや演習を通して学ぶ。									
授業計画 【第7回】	学習指導要領と教育課程 1 ① 学習指導要領改訂（第２・３回）の歴史的背景と内容について学ぶ。 ② 本時の学びから見えた課題について、グループワークや演習を通して学ぶ。									
授業計画 【第8回】	学習指導要領と教育課程 2 ① 学習指導要領改訂（第４・５回）の歴史的背景と内容について学ぶ。 ② 本時の学びから見えた課題について、グループワークや演習を通して学ぶ。									
授業計画 【第9回】	学習指導要領と教育課程 3 ① 学習指導要領改訂（第６・７回）の歴史的背景と内容について学ぶ。 ② 本時の学びから見えた課題について、グループワークや演習を通して学ぶ。									
授業計画 【第10回】	学習指導要領と教育課程 4 ① 平成２９年告示学習指導要領の改訂の経緯及び基本方針について学ぶ。 ② 本時の学びから見えた課題について、グループワークや演習を通して学ぶ。									

授業計画 【第11回】	学習指導要領と教育課程 5 ① 平成29年度告示学習指導要領の改訂の要点について学ぶ。 ② 本時の学びから見えた課題について、グループワークや演習を通して学ぶ。
授業計画 【第12回】	学習指導要領と教育課程 6 ① 平成29年度告示学習指導要領の改訂の方向性について学ぶ。 ② 本時の学びから見えた課題について、グループワークや演習を通して学ぶ。
授業計画 【第13回】	学習指導要領と教育課程 7 ① 社会に開かれた教育課程の実現、カリキュラム・マネジメントの実践について学ぶ。 ② 本時の学びから見えた課題について、グループワークや演習を通して学ぶ。
授業計画 【第14回】	学習指導要領と教育課程 8 ① 教育評価の在り方と実際について学ぶ。 ② 本時の学びから見えた課題について、グループワークや演習を通して学ぶ。
授業計画 【第15回】	学習指導要領と教育課程 9 ① 本講義の学びを振り返る。 ② 本講義の学びから見えた課題について、グループワークや演習を通して学ぶ。
授業の到達目標	講義を通して、次の3点について、関連する知識及び技能を獲得する。 1 学校教育における教育課程の役割・機能・意義を理解する。【知識・理解】 2 学習指導要領の教育的意義、法的位置付けを理解するとともに、その変遷を教育的背景、改訂の基本理念、具体的内容から理解する。【知識・理解】 3 教育課程の編成・実施・評価における基本原理とその実際について理解し、基礎的な技能を習得する。【知識・理解】【汎用的技能】
学位授与の方針 (DP)との関連	1. 知識・理解を応用し活用する能力-(1)／1. 知識・理解を応用し活用する能力-(2)／2. 汎用的技能を応用し活用する能力-(1)／2. 汎用的技能を応用し活用する能力-(2)／3. 人間力、社会性、国際性の涵養-(1)／3. 人間力、社会性、国際性の涵養-(2)
授業時間外学習【予習】	〈予習〉 講義の際に次回の講義内容を提示するので、内容に関する関連情報を収集・把握しておく。(1時間)
授業時間外学習【復習】	〈復習〉 講義で扱った内容に関する関連情報(法令、論文、資料等)を確認し、教育課程との関わりについて明確にしておく。(1時間)
課題に対する フィードバック	1 定期テストは、試験後に解説する。 2 日常のレポート(講義の振り返り)は、フィードバックの時間を設け、次の学びへと生かせるようにする。
評価方法・基準	以下の項目に基づいて評価する。 1 定期試験 70点 2 日常のレポート(講義の振り返り) 30点
テキスト	小学校学習指導要領(平成29年度告示)
参考書	小学校学習指導要領(平成29年度告示)解説 総則編
備考	